

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2- 薬草風呂等体験施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第5章 - 3 - (1) - イ	
担当部課名		経済課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度		観光リゾート産業の振興	
					沖縄振興基本方針該当箇所		- 1 - (1)	
事業内容		森林セラピーの体験メニューの充実を図る基盤整備の一つとして、雄大な自然を望みながら、薬草風呂や薬草スキームを満喫できる体験施設を整備し、森林セラピーの誘客増加を図る。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	95,667				
			(b)予算現額	98,067	100,675			
			(c)増減額(b-a)	2,400	4,309			
			(d)繰越額	-	96,366			
			A.計(b+d)	98,067	100,675			
		B.執行済額		1,701	100,675			
		うち交付金充当額		1,360	80,541			
		次年度繰越額		96,366	0			
		執行率(%) (B/A)		1.7%	100.0%			
予算の状況の説明		・体験施設整備位置について、「整備後の景観、利用者の目線、施設運営の利便性などの観点から、整備位置の再検討を求める意見があり、その対応に不測の日数を要し繰越した。 ・H24(繰)事業となった。増額は2 - セラピーロード附帯施設整備事業から流用している。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		薬草風呂等体験施設の実施設計	目 標	(実施設計)	()	()	()	
			実 績	実施設計 施設整備				
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	・H24(繰)となったが、薬草風呂等体験施設の実施設計を計画通り行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (29年度)
		薬草風呂等体験施設の実施設計	目 標	()	(実施設計)	()	()	()
			実 績		実施設計 施設整備			
		[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明	・H24(繰)となったが、薬草風呂等体験施設の実施設計及び施設整備までを計画通り行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・森林セラピー等の体験参加者がなかなか増えない。 ・言葉では伝えきれない施設の魅力を周知する方法の検討が必要。 ・使用する薬草等の通年をとおし安定した供給体制が出来ていない。	・イベント等組み合わせた体験ツアーを企画し、森林セラピー理解者の底辺を広げる必要がある。 ・モニター利用者や体験利用などを企画し、施設の周知拡大を図る必要がある。 ・農家等と連携して安定した薬草供給体制を作る。
今後の取り組み方針		
・森と宿をセットにした森林セラピープログラム等モニターツアーや体験利用を推進し、宿泊・滞在型の利用者増による施設利用者の増加を図る。		

資金の流れ										
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)										
		総事業費	交付対象事業費	<table><tr><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>102,376</td><td>102,376</td><td>81,901 20,475 0</td></tr></table>	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	102,376	102,376	81,901 20,475 0
交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費								
102,376	102,376	81,901 20,475 0								
国頭村 102,376千円		事務費 201千円	アドバイザー報償費							
		委託費 8,285千円	実施設計業務委託費							
		株翁長設計 6,815千円								
		株翁長設計 1,470千円	建築工事監理業務委託費							
		工事費 93,890千円	建築工事費							
		(有)のうけん 56,689千円								
		(有)みやしろ 9,450千円	電気設備工事費							
		(有)大国建材 27,751千円	機械設備工事費							

資金の 使途の 流れ、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		2- セラピーロード付帯施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第5章 - 3 - (1) - イ		
担当部課名		経済課		事業実施 (予定)年度 平成 2 4 ~ 2 5 年度		観光リゾート産業の振興		
				沖縄振興基本方針 該当箇所		- 1 - (1)		
事業内容		山中で展開される森林セラピーツアー客の利便性向上を図るため、案内看板や説明版の設置や水源や電源のない山中でも設置可能なエコトイレなどの付帯施設を整備する。						
実施方法		☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	19,433	-			
			(b)予算現額	19,433	15,124			
			(c)増減額(b-a)	0	▲ 4,309			
			(d)繰越額	-	19,433			
			A.計(b+d)	19,433	15,124			
		B.執行済額		0	10,185			
		うち交付金充当額		0	8,148			
		次年度繰越額		19,433	0			
		執行率(%) (B/A)		0.0%	67.3%			
予算の状況の説明		・セラピーロード付帯施設整備位置について、「整備後の環境負荷、利用者の利便性、施設管理の容易性などの観点から、整備位置の再検討を求める意見があり、その対応に不測の日数を要し繰越した。 ・不用額の多くは、エコトイレ設置個所を3ヶ所から1ヶ所にしたための費用減 ・減額については、2 - 薬草風呂等体験施設整備事業へ流用						
活動目標 (指標) 及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		セラピーロード付帯施設の実施設計	目 標	(実施設計)	()	()	()	
			実 績	施設整備				
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成 状況 説明	・当初の目標である実施設計は委託せず、直接実施とした。 ・H24(繰)となったが、森林セラピーロード付帯設備の施設整備を完了した。(看板4種・エコトイレ1基)							
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (29年度)
		セラピーロード付帯施設の整備着手	目 標	()	(看板4種 エコトイレ3基)	()	()	(50)
			実 績		看板4種 エコトイレ1基			
		〔参考指標〕	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進 捗 状 況 説 明	・工事実施時の周辺環境に与える負荷に配慮し、セラピーロードの最長ルートにしほりエコトイレを実施し、計画の3ヶ所から実施1ヶ所に減じた。なお、減じた2本のルートは起点がビジターセンターであることから、ロード利用前のトイレ利用の周知を徹底することとした。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 企画立案段階は環境に配慮したエコトイレを3本のロードに配置する計画であったが、設計時の詳細検討において、工事実施時の周辺環境に与える負荷に配慮し、セラピーロードの最長ルートにしぼりエコトイレを実施することとなり計画の3ヶ所からの実施1ヶ所に減じた。 - セラピーロード付帯設備の案内看板、説明看板等を活用する、人材育成が必要	- 企画立案段階で施設整備後の利用条件だけで施設を検討するのではなく、施工時の周辺環境への配慮も検討する必要がある。 - 新設した看板等を活用しながらの人材育成講座を継続して行う。
今後の取り組み方針		
- 土工に生じる床堀等に際し、極力自然景観を損なわないような施工に努める。 - ガイド養成講座を継続しながら村観光窓口との集約化を図り、受入れ体制を整備するとともに、森林セラピーの周知に努める。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10,185</td><td>10,185</td><td>8,148</td><td>2,037</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,185	10,185	8,148	2,037	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,185	10,185	8,148	2,037	0										
国頭村 10,185千円 → 工事費 10,185千円 → (有)大国建材 10,185千円 〔 森林セラピーロード付帯施設整備 看板、エコトイレ 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	- 工事事業者は指名競争入札により選定しており、妥当と考えている。 - 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なもの等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		3- ウッドスタート推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (7) - ア		
担当部課名		経済課		事業実施(予定)年度 平成 2 4 ~ 2 8 年度		おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 1 - (6)		
事業内容		国頭村木材を活かした、玩具、家具、内装材などを開発し、木に対する親しみや木の文化への理解を深める活動を推進し、子供から大人まで木に触れ合う機会を増やしことにより、「木づかいファン」を増やし、国頭村木材の利用促進による林産業の活性化を促す。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	5,098	-			
			(b)予算現額	5,098	-			
			(c)増減額(b-a)	0	-			
			(d)繰越額	-	2,697			
			A.計(b+d)	5,098	2,697			
		B.執行済額		2,401	1,733			
		うち交付金充当額		1,921	1,386			
		次年度繰越額		2,697	0			
		執行率(%) (B/A)		47.1%	64.3%			
予算の状況の説明		・おもちゃ製作工場の台風被害により、ウッドスタートを推進するおもちゃの製作に遅れが生じ、委託費2,697千円を繰り越した。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		木育玩具の製作	目 標	(木育玩具の製作)	()	()	()	
			実 績	木育玩具の製作				
					()	()	()	
達成状況説明		・ウッドスタート玩具として、収納箱入りのリュウキュウマツ積木セットを制作した。						
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(29年度)
		木育玩具の製作	目 標	()	(木育玩具の製作)	()	()	(累計 200)
			実 績		木育玩具の製作			
		[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明		・大型台風により玩具加工場の屋根や外壁が被害を受け、復旧に不測の日数を要したためウッドスタートおもちゃ制作が遅れH25年度に繰り越しとなり、出荷数は実績なしとなった。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・1種類のウッドスタート玩具だと多様な利用者のニーズに対応できないこともある。	・利用者のニーズ等を調査して数種類のウッドスタート玩具を制作し、多様な利用者に対応していく必要がある。 ・利用者は子供のみならず、一般来客者の「望んでいる玩具等」のニーズ等分析把握する必要がある。
今後の取り組み方針		
・村内外にウッドスタート玩具による木育活動を広げながら、利用者のニーズ等を調査して数種類のウッドスタート玩具を制作し、多様な利用者に対応して「木づかいファン」を増やしていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,134</td><td>4,134</td><td>3,307</td><td>827</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 国頭村 4,134千円 委託費 1,732千円 NPO日本グッドトイ委員会 1,732千円 ウッドスタート推進支援委託 補助金 2,402千円 国頭村森林資源活用推進協議会 2,402千円 玩具開発用備品整備 (負担金、補助及び交付金)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,134	4,134	3,307	827	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,134	4,134	3,307	827	0										
資金の流 れ、使 途、費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・「木づかいファン」を増やす試みとしてウッドスタートの取組を 発案し、全国的にその周知の取組を行っているNPO団体と 随意契約を行った。 ・費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な ものか等について額の確定時において支出等に関する書類に より確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		3-「森のおもちゃ広場」等整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (7) - ア		
担当部課名		経済課		事業実施(予定)年度平成 2 4 ~ 2 8 年度		おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 1 - (6)		
事業内容		命案の森と呼ばれる国頭村の森の中に「森のおもちゃ広場」を設置し、だれでも気軽に利用できるおもちゃの空間を演出し、国頭村の木育の拠点として整備する。また、都市部での「木育」おもちゃ広場の要望に応えられるよう、移動おもちゃ広場のキットを作成する。						
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	21,360	-			
			(b)予算現額	25,560	-			
			(c)増減額(b-a)	4,200	-			
			(d)繰越額	-	22,659			
			A.計(b+d)	25,560	22,659			
		B.執行済額		2,901	19,372			
		うち交付金充当額		2,321	15,497			
		次年度繰越額		22,659	0			
		執行率(%) (B/A)		11.3%	85.5%			
予算の状況の説明		・おもちゃ広場整備位置について、整備効果の広がりの観点や運営管理の観点から、整備位置や整備面積の再検討を求める意見があり、その対応に不測の日数を要したため、繰越しとなった。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		森のおもちゃ広場施設の実施設計の実施	目 標	(実施設計)	()	()	()	
			実 績	実施設計 施設整備				
		移動おもちゃ広場キットの作成	目 標	(キット制作)	()	()	()	
			実 績	キット制作				
達成状況説明		・おもちゃ広場計画位置や規模の変更により、広場設計及び工事、備品整備が繰越しとなったが、整備面積が増加し余裕のある広場整備ができ、より魅力の高い施設整備となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (29年度)
		森のおもちゃ広場施設の実施設計の実施	目 標	()	(実施設計)	()	()	()
			実 績		実施設計 施設整備			
		移動おもちゃ広場キットの作成	目 標	()	(キット制作)	()	()	()
			実 績		キット制作			
		進捗状況説明		・施設の整備により、国頭村の木育発信拠点が出来、通年を通して木育活動ができる体制が出来た。また、移動おもちゃ広場キットにより、国頭まで足を運ばずともおもちゃを通して木育体験を提供できる、仕組みが出来た。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・施設利用者がリピーターや口込みで施設の魅力を広げてもらうには、施設運営スタッフの接客技術及びおもちゃを通した木育技術等のスキルアップ、土日やゴールデンウィーク、夏休みなど利用者が多く見込まれる時の運営サポートの育成が必要である。	・木育拠点施設利用者の増加を目指すためにさまざまなメディアを使い、木育の発信に努める。 ・利用者の満足度を高めリピーターや口込みで施設の魅力を広げてもらうには、早急に運営スタッフの育成及び接客技術等のスキルアップ及び運営サポートの育成を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
・おもちゃ広場を拠点として木育活動の発信に努めるとともに、運営スタッフの育成及び接客技術等のスキルアップや運営サポートの育成を図り施設運営体制の強化していく。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>22,273</td><td>22,273</td><td>17,818</td><td>4,455</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	22,273	22,273	17,818	4,455	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
22,273	22,273	17,818	4,455	0										
国頭村 22,273千円 工事費 18,953千円 (有)宮城土建 18,953千円 〔おもちゃ広場整備工事〕 備品費 419千円 NPO日本グッドトイ委員 会 419千円 〔展示備品購入〕 補助金 2,901千円 国頭村森林資源活用推 進協議会 2,901千円 〔おもちゃ広場計画、調査費用 (負担金、補助及び交付金)〕														
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・おもちゃ広場の実施設計委託は、東京おもちゃ美術館を自ら整備し、その施設を拠点に全国で木育活動を先進的に組を行っているNPO団体と随意契約を行った。 ・最小限の予算で、事業を行うことが出来た。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		5- 多自然川づくり事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章 - 1 - (1) - ウ		
担当部課名		建設課		事業実施 (予定)年度		平成 2 4 ~ 3 0 年度		
				沖縄振興基本方針 該当箇所		自然環境の再生 - 1 - (1)		
事業内容		中心市街地を流れる辺土名川を整備し、河川敷などの空間の有効活用、治水安全度の向上等、河川全体の自然環境を最大に活かした河川再生を図るとともに、辺土名地区のまちづくりとリンクさせ、人を呼び込む魅力ある観光スポットにすることで、地域の活性化を図る。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	18,992	-			
			(b)予算現額	18,992	-			
			(c)増減額(b-a)	0	-			
			(d)繰越額	-	16,409			
			A.計(b+d)	18,992	16,409			
		B.執行済額		2,583	16,409			
		うち交付金充当額		2,066	13,127			
		次年度繰越額		16,409	0			
		執行率(%) (B/A)		13.6%	100.0%			
予算の状況の説明		・自然環境調査にあたり、有識者からの春期調査実施要望があり、又、1年間の水位・流速連続観測調査の追加業務があった為、繰り越したものである。 ・推進計画策定業務にあたり、自然環境調査の調査結果を推進計画へと繋げる為に並行して繰り越したものである。 ・平成25年3月をもって、当初予算18,992千円を執行した。						
活動目標 (指標) 及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		河川環境調査・土質調査・測量調査の実施	目 標	(環境調査 土質調査 測量調査)	()	()	()	
			実 績	環境調査 土質調査 測量調査				
			目 標	()	()	()	()	
			実 績					
達成状況説明		H24(繰)となったが、計画していた自然環境調査委託業務及び推進計画策定委託業務を実施した。 環境調査の内容として、【水理特性の整理に係る調査】・【環境特性の整理に係る調査】を実施した。 推進計画の内容として、【川を活かしたまちづくり、まちを活かした川づくりをテーマに、辺土名川の多自然川づくりを推進し、 辺土名川を軸に中心市街地に活気が戻り、周辺住民の生活の質が向上するよう具体的な取り組みを推進計画策定した。】						
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
		辺土名川河川整備に係る調査業務の実施	目 標	()	(調査業務)	()	()	()
			実 績		調査業務			
			目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明		・辺土名川の自然環境調査により現況の基礎資料が得られた。並行に推進計画を進めていく中で、住民参加(親子参加)による辺土名川の視察及びワークショップの開催により、住民側の意見等も多数得られ、推進計画が策定できた。 ・推進計画の内容として、【川を活かしたまちづくり、まちを活かした川づくりをテーマに、辺土名川の多自然川づくりを推進し、辺土名川を軸に中心市街地に活気が戻り、周辺住民の生活の質が向上するよう具体的な取り組みを推進計画策定した。】				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・辺土名川を整備していく中で、河川沿いに植栽及びガーデンを設けた場合、維持管理は事業主が行うのか、住民側で行うのか、または共働で行うのか課題になった。	・複数回ワークショップ及び住民説明会を開催し、検討する。多自然川づくりの先進事例も参考にしながら住民側と意見交換をする必要がある。
今後の取り組み方針		
・平成24年度に実施した推進計画策定業務において整理した内容を基礎として、課題となった維持管理等については、今後ともワークショップ及び住民説明会を開催して、地域住民の意見を取り入れながら基本設計業務を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
18,992	18,992	15,193	3,799	0

国頭村
18,992千円

委託料
18,992千円

(株)沖縄環境保全研究所
10,374千円

(株)国建
8,618千円

自然環境調査にかかる委託業務

推進計画策定にかかる委託業務

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価、 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 ○ 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		5-魅力あるヤンバル路づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名		建設課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
		- 1 - (1)						
事業内容		「魅力ある安心・安全な観光ルートづくり」に向けて、観光地へアクセスする村道の景観美化を集中的・重点的に実施する。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	45,400	-			
			(b)予算現額	45,400	-			
			(c)増減額(b-a)	0	-			
			(d)繰越額	-	45,400			
			A.計(b+d)	45,400	45,400			
		B.執行済額		0	39,644			
		うち交付金充当額		0	31,715			
		次年度繰越額		45,400	0			
		執行率(%) (B/A)		0.0%	87.3%			
予算の状況の説明		・自然と共存する観光地づくりを推進するため、観光地及びその周辺並びにアクセス道路等のエリアの危険木を除去する工事である。 ・自然と共存する観光地づくりを推進するため、観光地及びその周辺並びにアクセス道路等のエリアの除草及び防草コンクリートを設置する工事である。 ・繰り越した理由としては、【危険木の除去】及び【除草・防草コンクリート】の調査範囲を確定するのに期間を要した為。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		景観美化を実施する観光ルート数(危険木)	目標	(11路線 4,150m)	()	()	()	
			実績	9路線 4,273m				
		景観美化を実施する観光ルート数(除草・防草コンクリート)	目標	(11路線 1,400m2)	()	()	()	
			実績	12路線 4,809m2				
達成状況説明	・H24(繰)となったが、観光地及びその周辺並びにアクセス道路等のエリアの危険木を除去する工事にあたり、台風が襲来する季節前に工事発注し、11路線と掲げた目標は達成できなかったが危険木を除去することができた。達成できなかった2路線については、区からの早急の要望があり、単費にて実施した。 ・H24(繰)となったが、観光地及びその周辺並びにアクセス道路等のエリアの除草及び防草コンクリートを設置する工事にあたり、計画以上の成果を達成することができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		景観美化を実施する観光ルート数(危険木)	目標	()	(11路線 4,150m)	()	()	()
			実績		9路線 4,273m			
		景観美化を実施する観光ルート数(除草・防草コンクリート)	目標	()	(11路線 1,400m2)	()	()	()
			実績		12路線 4,809m2			
		進捗状況説明	・H24(繰)となったが、国頭村の主要観光施設へアクセスする村道において、前年度パトロールを実施し伐採箇所を選定できた結果、11路線と掲げた目標は達成できなかったが危険木を除去することができた。達成できなかった2路線については、区からの早急の要望があり、単費にて実施した。 ・H24(繰)となったが、国頭村の主要観光施設へアクセスする村道において、前年度パトロールを実施し除草及び防草コンクリート設置箇所を選定できた結果、安心・安全な観光ル - トづくりができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・工事契約締結後に請負者との立会にて、危険木の本数が多すぎて選定することが困難であった。 ・台風時の落石及びハブ等の危害から安全が確保されることが重要である。	・日数も要しハードな作業になるが、工事発注前に危険木を選定し、マーキング等を施すことにより、工期も短縮可能である。 ・除草及び防草コンクリートを設置したことにより景観が良くなり、事故及びハブ等による危害の情報がなかった。
今後の取り組み方針		
・観光地へのアクセス村道の景観美化を集中的・重点的に実施した。今後については、景観美化及び安全・安心なアクセス道を活かしての観光振興につなげるとともに、散歩道・憩いの場としての活用も図る。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
39,644	39,644	31,715	7,929	0

国頭村
39,644千円

工事費
39,644千円

(有)浦崎建設
10,357千円

(有)金雅建設
9,598千円

(有)金雅建設
19,689千円

危険木除去にかかる工事

除草及び防草コンクリート設置にかかる工事

除草及び防草コンクリート設置にかかる工事

資金の 使途の 流れ、 点検 項目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 請負業者は企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 ○ 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		国頭村							
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】									
事業番号・事業名		7- 比地大滝吊り橋点検改修事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ			
担当部課名		企画商工観光課		事業実施 (予定)年度 平成 2 4 年度		観光客の受入体制の整備			
				沖縄振興基本方針 該当箇所		- 1 - (1)			
事業内容		比地大滝の吊り橋は、森林内及び河川沿いに設置されており、木床板や金具等の腐食が年々拡大していて危険な状態であることから、利用者の安全確保を図るため全面的な点検調査を実施し危険箇所の改修を実施する。							
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
		予算 の 状 況	(a)当初予算額	38,675	-				
			(b)予算現額	35,000	20,160				
			(c)増減額(b-a)	▲ 3,675	2,222				
			(d)繰越額	-	17,938				
			A . 計 (b+d)	35,000	20,160				
		B . 執行済額		17,062	20,160				
		うち交付金充当額		13,650	14,350				
		次年度繰越額		17,938	0				
		執行率 (%) (B/A)		48.7%	100.0%				
予算の状況の説明		当初計画では、吊り橋床板と金具等の腐食の激しい箇所だけの改修計画であったが、長期的な維持管理及び安全性を検討した結果、床板を木製からより耐久性のあるGRP製に変更したことによる事業費の増額及び繰越となった。							
活動目標 (指標) 及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度		
		比地大滝の吊橋点検調査、吊橋改修工事の実施	目 標	(点検調査)	()	()	()		
			実 績	点検調査・改修工事					
					()	()	()		
達成状況説明		吊り橋の床板及び吊り金具等の腐食、鉄さび、緩みの点検調査を実施し、調査結果による危険箇所部材改修工事を実施したことにより、利用者の安全・安心が確保がされた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
		比地大滝吊橋改修整備着手	目 標	()	(改修整備)	()	()	()	
			実 績		改修整備				
		[参考指標]		目 標	()	()	()	()	()
				実 績					
進捗状況説明		子供からお年寄りに至る幅広い年齢層の利用者が安全・安心に利用できる観光地づくりが推進される。また、観光地としての快適性、利便性が向上することにより、森林のもつ癒し空間を求める利用者増加や自然環境教育の場としての活用が期待できる。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	橋柱やワイヤーは既存の部材を利用しているため定期的な管理が必要。	通常の維持管理による巡視や、定期的に専門による点検を実施することにより安心・安全の確保を行う。
今後の取り組み方針		
幼児からお年寄り、または、健康者以外の利用者が気軽に散策ができ、国頭村の豊かな自然を体感し、自然保護啓発、環境教育の場、癒し空間の場として提供することにより交流人口増による地域の活性化を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
国頭村 37,222千円 委託料 3,622千円 工事請負費 33,600千円 比地大滝吊橋点検設計業務 (株)環境技建ウエーブ 3,622千円 比地大滝吊橋改修工事 (有)のうけん 33,600千円														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>37,222</td><td>37,222</td><td>28,000</td><td>9,222</td><td>0</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	37,222	37,222	28,000	9,222	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
37,222	37,222	28,000	9,222	0										
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託・工事業者は指名競争入札により選定しており、妥当と考えている。 ○ 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		7-比地大滝歩道改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ		
担当部課名		企画商工観光課		事業実施(予定)年度平成 2 4 ~ 2 5 年度		観光客の受入体制の整備		
				沖縄振興基本方針該当箇所		- 1 - (1)		
事業内容		比地大滝遊歩道は起伏の激しいヶ所が点在しているため、利用頻度も減る傾向にあるため、起伏の激しいヶ所については既存の階段歩道も残しながら迂回路を整備し年配・幼児・健常者以外の方でも気軽に散策できる施設整備と、あわせて、管理用車両と特殊車両(運搬機)を購入し緊急時での対応と施設の安全管理の強化を図る。						
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	54,242	-			
			(b)予算現額	42,290	26,265			
			(c)増減額(b-a)	▲ 11,952	9,152			
			(d)繰越額	-	17,113			
			A.計(b+d)	42,290	26,265			
		B.執行済額		25,177	26,265			
		うち交付金充当額		20,142	21,012			
		次年度繰越額		17,113	0			
		執行率(%) (B/A)		59.5%	100.0%			
予算の状況の説明		危険(落石)ヶ所の拡大による規模増による事業費増と、それに伴う現地確認や工法検討に不測の日数を要したこと及び管理車両の納車期間の遅れにより繰越となった。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		比地大滝の歩道危険箇所調査、歩道改修設計等の実施	目 標	(危険箇所調査実施設計)	()	()	()	
			実 績	危険箇所調査実施設計改修完了				
			目 標		()	()	()	
			実 績					
達成状況説明	H24(繰)となったが、起伏の厳しい歩道を緩やかに改修したことにより、お年寄りから子供まで気軽に施設散策が楽しめ、施設の利用効果が図られる。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		比地大滝の歩道改修整備着手	目 標	()	(危険箇所調査実施設計)	()	()	()
			実 績		危険箇所調査実施設計改修完了			
		[参考指標]	目 標	()	()	()	()	()
			実 績					
		進捗状況説明	歩道の整備改修により一部区間起伏の改善がなされたことにより、来訪者の増加による施設利用が期待される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地形的に歩道改修が厳しい箇所や、施設営業しながらの工事のため施設管理者との協議が必要。	工事期間中は来訪者の安全を確保するため迂回路(仮橋)等を設置。また、地形の厳しい箇所については計画の見直しを検討中。
今後の取り組み方針		
・地形的に施工が厳しい箇所については、自然形態へ影響の少なく既存の歩道を最小限の施工を施す。 ・幼児からお年寄り、または、健康者以外の利用者が気軽に散策ができ、国頭村の豊かな自然を体感し、自然保護啓発、環境教育の場、癒し空間の場として提供することにより交流人口増による地域の活性化を図る。		

資金の流れ																
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
		総事業費	交付対象事業費	<table><tr><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr><tr><td>51,442</td><td>51,442</td><td>41,153</td></tr><tr><td></td><td></td><td>10,289</td></tr><tr><td></td><td></td><td>0</td></tr></table>	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	51,442	51,442	41,153			10,289			0
交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費														
51,442	51,442	41,153														
		10,289														
		0														
国頭村 51,442千円 委託料 9,609千円 工事請負費 40,299千円 備品購入費 1,534千円 比地大滝歩道危険箇所設計業務 (株)沖橋エンジニアリング 3,561千円 比地大滝歩道改修設計業務 (株)城南設計コンサルタント 6,048千円 比地大滝歩道危険箇所整備工事 (有)運 天 組 40,299千円 比地大滝キャンプ場特殊車両購入業務 ヤンマー沖縄株式会社 276千円 比地大滝キャンプ場管理車両購入業務 神山自動車整備工場 1,258千円																
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○ 委託・工事業者は指名競争入札により選定しており、妥当と考えている。 ○ 費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-	教育施設環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 5 - (3) - ウ	
担当部課名	教育課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ~ 2 5 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力あある学校づくりの推進	
事業内容	亜熱帯気候である沖縄においては、1年のうち高温多湿の状況が長期的に及ぶことから、本村の幼稚園(1園)、小学校(7校)、中学校(1校)の夏場の暑さ対策として、空調設備の設置を実施し、教育環境の改善を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(b)予算現額	28,421	-			
		(c)増減額(b-a)	▲ 1	-			
		(d)繰越額	-	28,420			
		A . 計(b+d)	28,420	28,420			
	B . 執行済額	0	25,677				
		うち交付金充当額	0	20,542			
		次年度繰越額	28,420	0			
	執行率 (%) (B/A)	0.0%	90.3%				
	予算の状況の説明	工事箇所及び設備等について、保護者から空調設備の拡充意見があり、当初の計画を変更したためその調整に不測の日数を要した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
	空調施設の設置箇所数		24年度	25年度	26年度	27年度	
		目 標	(幼稚園1校 小学校7校 中学校1校)	()	()	()	
		実 績	小学校7校 中学校1校				
		目 標	()	()	()	()	
	実 績						
達成状況説明	村内幼稚園・小学校・中学校への空調設備設置計画で事業を進めていたが、幼稚園については平成25年8月に開催された幼保一元化検討委員会において保育所・幼稚園施設の一体化が検討されたことから、移転に伴って空調設備設置対象から除外した。設置完了した小学校7校、中学校1校については、学習環境が改善され児童生徒の学習意欲の向上が図られている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	空調施設の設置箇所数		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		目 標	()	(幼稚園1校 小学校7校 中学校1校)	()	()	()
		実 績		小学校7校 中学校1校			
		[参考指標]	目 標	()	()	()	()
	実 績						
	進捗状況説明	当初の計画では幼稚園1校、小学校7校、中学校1校であったが、幼稚園移転予定に伴い小学校7校、中学校1校の実績となったが空調設備利用の小学校・中学校については、学習環境が改善されたことにより学習意欲の向上が図られている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	幼稚園(1園)、小学校(7校)、中学校(1校)、へ空調設備の設置を計画していたが、事業遂行中において幼保一元化に伴う保育所・幼稚園施設の一体化計画により、幼稚園については事業対象から除外した。新たな施設については、平成26年度において基本計画策定、平成28年度に建設完了の予定である。当初は製品設置のみで計画立案したが、新たな空調設備を設置するにあたり、既設動力に過不足が生じることによる電気容量の確保や、人体負荷による空調機器能力選定による比較検討等、高度な設計技術が必要であることから、計画時は全事業費を工事請負費として考慮していたが、事業費の一部を設計委託料として事業執行した。	・各学校の未設置箇所の新たな空調設備の導入においては、電気容量の確保や空調機器能力選定等、設計技術を勘案した基本計画の策定し、計画を進める必要がある。
今後の取り組み方針		
・各学校の未設置箇所の新たな空調設備の導入においては、電気容量の確保や空調機器能力選定等、設計技術を勘案した基本計画を策定し、夏場の学習環境が改善により、児童・生徒の学習意欲の向上を図り、学力向上に繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
国頭村 25,677千円 工事請負費 (有)北勝建設 23,315 千円 委託料 (株)国吉設計 2,362 千円				
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
25,677	25,677	20,542	5,135	0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なもののなか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		国頭村						
平成 2 4 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名		14- 体験型民泊受入促進事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		
担当部課名		企画商工観光課		事業実施(予定)年度		平成 2 4 ～ 2 5 年度		
				沖縄振興基本方針該当箇所		第3章 - 3 - (2) - ウ 観光客の受入体制の整備 - 1 - (1)		
事業内容		旅行者・学校関係者・雑誌社へ国頭村民泊事業のPRのためのモニターツアーを企画実施し、国頭村での民泊事業への誘客を図るとともに、民泊事業者等を対象に講習会や先進地域との交流視察研修等を実施し、民泊受入体制を強化する。また、車両備品を整備し民泊上入れ体制を強化する。						
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)				24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		予算の状況	(a)当初予算額	3,594	-			
			(b)予算現額	3,520	-			
			(c)増減額(b-a)	▲ 74	-			
			(d)繰越額	-	3,216			
			A.計(b+d)	3,520	3,216			
		B.執行済額		304	2,864			
		うち交付金充当額		243	2,291			
		次年度繰越額		3,216	0			
		執行率(%) (B/A)		8.6%	89.1%			
予算の状況の説明		車両の選定調整及び入札不調により不測の日数を要したことで、車両の年度内での制作及び納期が困難なため繰り越しとなった。						
活動目標(指標)及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度	
		旅行者・学校・雑誌社向け民泊PRモニターツアーの企画・実施	目標	(民泊PRモニターツアーの実施)	()	()	()	
			実績	民泊PRモニターツアーの実施				
		民泊ステップアップ研修の実施	目標	(民泊ステップアップ研修の実施)	()	()	()	
			実績	民泊ステップアップ研修の実施				
達成状況説明	旅行者を県外から招き、民泊モニターツアーを体験していただき、修学旅行を民泊商品として売り出す商談も実施。また、受け入れ民泊世帯のメンバー向けに講師を招いての安心安全な料理講習などを実施。備品については、民泊受け入れ用車両を購入。							
成果目標(指標)及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		旅行者・学校・雑誌社向け民泊PRモニターツアーの企画・実施	目標	(1,135人)	(1,300人)	()	()	()
			実績		1,383人			
		民泊ステップアップ研修参加者数	目標	()	(42人)	()	()	()
			実績		40人			
		進捗状況説明	前年度民泊受け入れ人数1,135人を上回る1,383人が国頭村に民泊していただき、農業体験などを通して人との交流を楽しんだ。整備した車両で先生方の送迎や各民泊世帯の見回りなどスムーズに行われた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・備品整備において車両の選定調整及び入札不調により不測の日数を要したことや、車両の年度内での納品が困難なため事業を繰り越してしまった。 ・民泊の受入数は増加するものの、受入家庭軒数が限られているため、受入容量や、受入体制を強化する必要がある。	・事業繰り越しはしたが、競争入札において10名乗り車両を購入し、納品後民泊のお客様を送迎したり、民泊受け入れ状況を見回りするなど、実走している。 ・民泊受入世帯の増加や受入体制の強化が必要。
今後の取り組み方針		
引き続き、旅行者・学校・雑誌社向け民泊PRモニターツアーを企画し実施する。また、民泊受け入れ世帯の増加を目指し、受け入れ体制のステップアップ研修を引き続き行い、安心安全な料理や受け入れ状況を学んでいただく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,290	3,168	2,534	634	122

国頭村役場

3,168千円

→

補助金

3,168千円

合同会社 結くにがみ
(体験型民泊受入促進事業)
(備品購入ハイース10名乗)
3,168千円

交付対象外経費
結くにがみ122千円負担

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札を用いており適正に処理されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	